【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和1年5月30日(2019.5.30)

【公表番号】特表2018-512967(P2018-512967A)
【公表日】平成30年5月24日(2018.5.24)
【年通号数】公開・登録公報2018-019
【出願番号】特願2017-555332(P2017-555332)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　34/30　(2016.01)
Ａ６１Ｂ　1/00　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　1/045　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　1/06　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　1/12　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　1/273　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　1/31　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　34/30
Ａ６１Ｂ　1/00　６２０
Ａ６１Ｂ　1/00　６５０
Ａ６１Ｂ　1/00　６５２
Ａ６１Ｂ　1/00　６５５
Ａ６１Ｂ　1/00　７１５
Ａ６１Ｂ　1/045　６１０
Ａ６１Ｂ　1/06　５３１
Ａ６１Ｂ　1/06　６１２
Ａ６１Ｂ　1/12　５２２
Ａ６１Ｂ　1/273
Ａ６１Ｂ　1/31

【手続補正書】
【提出日】平成31年4月17日(2019.4.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
医療手順を実施するためのシステムであって、
第１のアセンブリと、
第２のアセンブリと
を含み、
前記第１のアセンブリは、
関節式プローブアセンブリと、
第１のハウジングと
を含み、
前記関節式プローブアセンブリは、
複数の関節式外側リンクおよび第１のコネクタを含む外側プローブと、
複数の関節式内側リンクおよび第２のコネクタを含む内側プローブと

を含み、
前記第１のハウジングは、
近位部分と、
遠位部分と、
前記第１のハウジング遠位部分の中の開口部と
を含み、
前記関節式プローブの少なくとも一部分は、前記第１のハウジング開口部を通過するように構築および配置されており、
前記第２のアセンブリは、
前記外側プローブの前記第１のコネクタに操作可能に係合するように構築および配置されている第１のキャリッジと、
前記内側プローブの前記第２のコネクタに操作可能に係合するように構築および配置されている第２のキャリッジと、
前記第１のキャリッジおよび前記第２のキャリッジを独立して並進させるように構成されているデュアルリニア駆動アセンブリと、
近位部分および遠位部分を含む第２のハウジングと
を含み、
前記第１のアセンブリは、前記第２のアセンブリに操作可能に取り付けられるように構築および配置されていることを特徴とする、システム。
【請求項２】
請求項１に記載のシステムであって、前記第１のアセンブリは、前記第２のアセンブリよりも少ない臨床的手順において使用されるように構築および配置されていることを特徴とする、システム。
【請求項３】
請求項２に記載のシステムであって、前記第１のアセンブリは、単一の臨床的手順において使用されるように構築および配置されていることを特徴とする、システム。
【請求項４】
請求項１に記載のシステムであって、前記第１のコネクタまたは前記第２のコネクタのうちの少なくとも１つは、前記第１のハウジングを越えて、前記第２のハウジングの方向に延在していることを特徴とする、システム。
【請求項５】
請求項１に記載のシステムであって、第１のコネクタまたは前記第２のコネクタのうちの前記少なくとも１つは、前記第１のアセンブリが前記第２のアセンブリに取り付けられているときに、前記第２のハウジングの中へ延在していることを特徴とする、システム。
【請求項６】
請求項１に記載のシステムであって、前記第１のコネクタおよび前記第２のコネクタは、互いにオフセットされていることを特徴とする、システム。
【請求項７】
請求項６に記載のシステムであって、前記第１のコネクタおよび前記第２のコネクタは、互いに水平方向にオフセットされていることを特徴とする、システム。
【請求項８】
請求項６に記載のシステムであって、前記第１のコネクタおよび前記第２のコネクタは、互いに垂直方向にオフセットされていることを特徴とする、システム。
【請求項９】
請求項１に記載のシステムであって、前記第１のキャリッジは、前記第１のコネクタに除去可能に係合するように構築および配置されている第１の接続部分を含むことを特徴とする、システム。
【請求項１０】
請求項９に記載のシステムであって、前記第１の接続部分は、前記第１のキャリッジに相対的にピボットするように構成されていることを特徴とする、システム。

【請求項１１】
請求項１０に記載のシステムであって、前記第１のキャリッジは、後退可能な突起部をさらに含み、前記後退可能な突起部は、前記突起部が前進された位置にあるときに、前記第１の接続部分のピボットを制限するように構築および配置されていることを特徴とする、システム。
【請求項１２】
請求項９に記載のシステムであって、前記第２のキャリッジは、前記第２のコネクタに除去可能に係合するように構築および配置されている第２の接続部分を含むことを特徴とする、システム。
【請求項１３】
請求項１２に記載のシステムであって、前記第２の接続部分は、前記第２のキャリッジに相対的にピボットするように構成されていることを特徴とする、システム。
【請求項１４】
請求項１３に記載のシステムであって、前記第２のキャリッジは、後退可能な突起部をさらに含み、前記後退可能な突起部は、前記突起部が前進された位置にあるときに、前記第２の接続部分のピボットを制限するように構築および配置されていることを特徴とする、システム。
【請求項１５】
請求項１２に記載のシステムであって、前記第１の接続部分または前記第２の接続部分は、対応する前記第１のコネクタまたは前記第２のコネクタに係合するように構築および配置されているキー付きの幾何学形状を含むことを特徴とする、システム。
【請求項１６】
請求項１５に記載のシステムであって、前記第１の接続部分のキー付きの幾何学形状は、前記第２のコネクタには係合しない、または、前記第２の接続部分のキー付きの幾何学形状は、前記第１のコネクタには係合しないように構築および配置されていることを特徴とする、システム。
【請求項１７】
請求項１２に記載のシステムであって、前記第１の接続部分、前記第２の接続部分、前記第１のコネクタ、または前記第２のコネクタのうちの少なくとも１つは、傾斜エレメントを含むことを特徴とする、システム。
【請求項１８】
請求項１２に記載のシステムであって、前記第１の接続部分、前記第２の接続部分、前記第１のコネクタ、または前記第２のコネクタのうちの少なくとも１つは、ばね荷重式のエレメントを含むことを特徴とする、システム。
【請求項１９】
請求項１２に記載のシステムであって、前記第１の接続部分、前記第２の接続部分、前記第１のコネクタ、または前記第２のコネクタのうちの少なくとも１つは、前進可能なピンを含むことを特徴とする、システム。
【請求項２０】
請求項１２に記載のシステムであって、前記第１の接続部分または前記第２の接続部分は、前記第１の接続部分または前記第２の接続部分と対応する前記第１のコネクタまたは前記第２のコネクタとの間に磁気的な引き付け力を引き起こすように構成されている磁気エレメントを含むことを特徴とする、システム。
【請求項２１】
請求項１２に記載のシステムであって、前記第１の接続部分、前記第２の接続部分、前記第１のコネクタ、または前記第２のコネクタのうちの少なくとも１つは、電磁石を含むことを特徴とする、システム。
【請求項２２】
請求項１に記載のシステムであって、前記第１のキャリッジまはた前記第２のキャリッジは、対応する前記第１のコネクタまたは前記第２のコネクタを垂直方向に受け入れて係

合するように構築および配置されていることを特徴とする、システム。
【請求項２３】
請求項２２に記載のシステムであって、前記第１のアセンブリは、前記第１のキャリッジおよび前記第１のコネクタがホームポジションにあるときに、前記第２のアセンブリに取り付けられるように構築および配置されていることを特徴とする、システム。
【請求項２４】
請求項１に記載のシステムであって、前記第１のキャリッジまたは前記第２のキャリッジは、対応する前記第１のコネクタまたは前記第２のコネクタを水平方向に受け入れて係合するように構築および配置されていることを特徴とする、システム。
【請求項２５】
請求項２４に記載のシステムであって、前記第１のアセンブリは、前記第１のキャリッジおよび前記第１のコネクタが互いに対して対応する位置にあるときに、前記第２のアセンブリに取り付けられるように構築および配置されていることを特徴とする、システム。
【請求項２６】
請求項１に記載のシステムであって、前記第１のキャリッジは、前記第１のハウジング遠位部分の中の前記開口部に対して、前記外側プローブを少なくとも前進させるように構成されていることを特徴とする、システム。
【請求項２７】
請求項２６に記載のシステムであって、前記第１のキャリッジは、前記外側プローブを後退させるようにさらに構成されていることを特徴とする、システム。
【請求項２８】
請求項１に記載のシステムであって、前記第１のキャリッジは、前記第１のコネクタを介して前記外側プローブを前進および後退させるように構成されていることを特徴とする、システム。
【請求項２９】
請求項１に記載のシステムであって、前記第２のキャリッジは、前記内側プローブを前進させるように構築および配置されていることを特徴とする、システム。
【請求項３０】
請求項２９に記載のシステムであって、前記第２のキャリッジは、前記内側プローブを後退させるようにさらに構成されていることを特徴とする、システム。
【請求項３１】
請求項１に記載のシステムであって、前記第２のキャリッジは、前記第２のコネクタを介して前記内側プローブを前進および後退させるように構成されていることを特徴とする、システム。
【請求項３２】
請求項１に記載のシステムであって、前記デュアルリニア駆動アセンブリは、親ねじ、ボールねじ、液圧式のピストン、空気圧式のピストン、磁気ドライブ、インチウォームドライブ、ベルトドライブ、および、それらの組み合わせからなる群から選択されるコンポーネントを含むことを特徴とする、システム。
【請求項３３】
請求項１に記載のシステムであって、前記デュアルリニア駆動アセンブリは、第１のリニア駆動および第２のリニア駆動を含み、前記第１のリニア駆動は、前記第２のリニア駆動に対して水平方向に間隔を離して位置決めされていることを特徴とする、システム。